

- ★★★ 【ミルクを吐いたとき】※誤嚥に注意してください
吐くときは、舌が突き出てえづきが始まります。1日に3回ほど、1回あたり20mlほど吐きます。
吐いた場合は、体を右向きにしてオリブ管（自前）で口鼻内を吸引してください。
仰向けになっていると、誤嚥のリスクが高まるので、すぐに横向きにしてください。
途中でせき込むので、並行して気管内も吸引が必要です。
腹圧で胃ろうより漏れがあります。胃ろうガーゼが濡れたままだと荒れてしまうので、ガーゼを交換してください。落ち着いたら、鼻の奥にミルクがたまっていることがあるので、8frチューブで吸引し取り除きます。（鼻から耳までの長さが挿入OKです）
- ★★★ 【ミルクを吐かせないために】※誤嚥に注意してください
ミルク前に気管と口鼻内の吸引を十分にします。このとき口鼻内は、8frチューブで鼻の奥にたまっているものも吸引します。ミルクのときは、誤嚥を防ぐため吸収力を上げるため、体を右向きにしてから始めてください。注入開始後、吸引が頻回になります。自宅では3分に1回程度吸引しています。注入中と直後は、口鼻内の吸引が刺激で嘔吐する場合があるため、なるべくタオルで拭う程度にします。ミルク後、30分は体位をそのままにします。
入浴（体拭き）・バンド交換は、ミルク後1時間以上空けてください。
- ★★☆ 【激しくむせることがあります】
おそらく唾液が気管にまわって激しくむせることがあります。タイミングはいろいろありますが、特に夜間の睡眠時、寝てすぐの時間帯は激しくむせることが多いです。
むせているときは、吸引をしながら状態を起こし様子をみてください。
- ★★☆ 【吸引が頻回】
自宅だと起きてるときは10分に1回、寝ているときは20～30分に1回程度吸引しています。
むせるようなせきが続くときが1日1回はあります。むせているときは、吸引をしながら状態を起こし様子をみてください。唾液がたれこみ、空咳が続くことがあります。起きているときは、スピーチバルブで圧をかけるとおさまります。
（スピーチバルブは乾燥するので、付けた場合は1回につき15分程度）
- ★★☆ 【吸引のときは必ず5センチ挿入】
5センチ以上挿入した場合は、激しくむせこむので注意してください。
5センチ以下の挿入の場合は、たんが取りきれずゼコゼコがおさまりません。
- ★★☆ 【眠いとき・・・】
眠いときは、目をこすったり、カニューレを触ったりすることがあります。
自宅では阻止していますが、ひどいときはミトンをつけたりしてください。
- ★★☆ 【泣いているとき・・・】
眠いとき以外に泣くことはありません。泣きがおさまらない場合は、どこかが痛い場合があるため、全身を観察してください。（特に胃ろう部が荒れて痛いなど）